

伊勢市における国の対策による削減量の内訳

【資料2】

	対策	導入技術、導入レベル	15%削減時 (注1)効果量(国) (千t-CO ₂)	削減量 (伊勢市) (千t-CO ₂)	算出指標	
産業部門	農林水産業対策	省エネ型温室による燃費改善30% など	1,000	0.6	伊勢市作付(栽培)面積/全国作付(栽培)面積	
	鉄鋼部門対策	(市域で次世代コークス炉導入の余地無し)	4,700	—	—	
	セメント部門対策	(該当なし)	400	—	—	
	石化部門対策	更新時に全ての事業所が、世界最先端の技術を導入	4,100	0.0	伊勢市製造品出荷額/全国製造品出荷額	
	紙パ部門対策		1,500	0.0		
	業種横断的技術	高性能工業炉、高性能ボイラなど高効率機器へのシフト	7,283	0.8	伊勢市製造品出荷額/全国製造品出荷額	
	小計		18,983	1.4		
民生家庭部門	高断熱住宅	2020年時点における住宅の数に対し、3%が改11年基準を満たす	1,916	1.8	伊勢市世帯数/全国世帯数	
	高効率空調	更新時に全ての住宅が、その時点の最高水準の機器を導入	3,900	3.8		
	高効率給湯	5世帯中4世帯に導入	10,286	9.9		
	高効率照明	更新時に全ての住宅が、その時点の最高水準の機器を導入	6,000	5.8		
	高効率家電		16,800	16.2		
	HEMS等	世帯数の30%に導入	1,950	1.9		
	太陽光発電	世帯数の13%に導入	4,938	4.7		
		小計		45,790		44.1
民生業務部門	高断熱建築物	2020年時点における建物数に対し、5%が改次世代基準を満たす	2,280	1.3	伊勢市延べ床面積/全国延べ床面積	
	高効率空調	電気HP式空調等の導入	11,244	6.5		
	高効率給湯	ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型給湯器、太陽熱温水器の導入	7,191	4.1		
	高効率照明	照明効率が現状の約2倍	10,000	5.8		
	高効率電気製品	家電製品、電気機器の効率改善	29,000	16.7		
	BEMS	業務系建築物の30%に導入	8,654	5.0		
	地域熱・廃熱利用	地域未利用熱の有効利用	1,000	0.6		
	太陽光発電	公共施設等大型建築物への太陽光発電の導入、現状(2005年)の約70倍	8,574	4.9		
		小計		77,943		44.9
運輸部門	燃費改善・次世代自動車	2020年時点の自動車の平均燃費が、2005年時点と比べ、乗用車では13%、貨物車では6%改善。2020年時点の自動車保有台数に対し、乗用車の28%、貨物車の7%が次世代自動車	34,600	44.6	伊勢市の乗用車、軽自動車の登録車両合計/全国の乗用車、軽自動車の登録車両合計	
	バイオ燃料導入	規格・基準検討、E10対応車の認証、供給・流通体制の整備促進など	2,000	2.6		
	交通流対策	徒歩と自転車ですらせるまちづくりなど	15,000	19.4		
	鉄道の効率改善	現状(2005)に対し、エネルギー消費原単位削減率 1%	144	0.2		伊勢市内鉄道営業キロ/全国鉄道営業キロ
	船舶の効率改善	(該当なし)	121	—		—
	航空の効率改善	(該当なし)	178	—		—
		小計		52,043		66.8
廃棄物部門	廃棄物部門の対策	燃焼の高度化など	7,000	7.0	伊勢市一般廃棄物焼却処理量/全国一般廃棄物焼却処理量	
CH ₄ 等3ガス	農業部門の対策	家畜等の排泄物管理方法の変更と施肥料の削減	1,200	0.8	伊勢市農業産出額/全国農業産出額	
	フロンガス部門の対策	ノンフロン製品等の普及加速化、ノンフロン製品等の技術開発など	13,000	11.3	伊勢市HFC等3ガス排出量/全国HFC等3ガス排出量	
	その他	—	2,000	2.1	伊勢市世帯数/全国世帯数	
	合計		217,959	178.4		

(注1) 15%削減時効果量(国)欄の数値は、「中長期ロードマップを受けた温室効果ガス排出量の試算」(平成22(2010)年3月)を基に県が推計した値です。